

平成30年度よなご大平園事業計画

1. 施設理念

- ・ ノーマライゼーションの実現及びセーフティネットの一翼を担う施設
- ・ 地域の財産となる施設

2. 施設方針・テーマ

(1) 施設方針

- ・ ご利用者への懇切、丁寧、誠実な対応
- ・ 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ・ 人間力の強化による、風通しのよい職場

(2) テーマ

『ご利用者の満足・ご家族の安心・地域の信頼・笑顔の職場』

3. 実施事業

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 救護施設 | 定員70名 |
| (2) 就労継続支援（B型）事業 | 定員25名 |
| (3) 生活介護事業 | 定員15名 |
| (4) 日中一時支援事業 | 定員15名 |
| (5) 共同生活援助事業 | 定員11名 |

4. 重点目標

(1) 利用者へのサービス提供

- ◆ 他職種連携によりご利用者の個別性を的確に把握することで、課題や目標等に即した個別支援計画を作成し、職員ひとり一人が持つ創造力を活かした支援を行い満足度の向上を図る。
- ◆ 救護施設及び共同生活援助事業において、1名の自立を目指す。
- ◆ 就労継続支援（B型）事業のご利用者の工賃について、工賃向上5か年計画に基づき、前年度支給額を上回る。
- ◆ 福祉サービス第三者評価の受審、自己評価等により、より良いサービス提供に向けた気づきと改善を行う。

(2) 施設・設備整備

- ◆ 施設・設備を点検し、優先順位の高いものから必要な修理、整備等を実施する。
- ◆ 中長期計画で老朽化対策等の大規模修理を実施する。
- ◆ 厨房（調理）業務の運営や設備の導入について見直し及び検討を行い、持続可能な厨房運営を行う。

(3) 施設管理

- ◆ ご利用者の作業中の怪我及び労働災害防止のため、ヒヤリハットの気づきを持ち職場環境の整備に努める。また、運転技術の点検と指導を行い、労働災害及び交通事故〇を目指す。
- ◆ 防災（火災、水害、地震、津波等）訓練を実施し、災害時の職員の行動確認と避難方法等の熟知に努める。不審者侵入等に関しても訓練等を実施し、防犯対策に努める。
- ◆ 研修の実施等により、ノロ・ウイルス等の発生防止及び、感染症の発生時やその他の疾病等の急変時に適切な対応ができるようにする。

(4) 職員管理

- ◆ 各種研修会へ積極的に参加し、専門性の向上や会議、ミーティング、委員会活動を充実させることにより組織的に業務を進め、苦情や虐待等の防止に努める。
- ◆ サポート制度やOJT等により、新人職員への育成指導を充実するとともに、ISOを理解して業務の品質向上に努める。
- ◆ ストレスチェックや職員アンケートの結果に基づいて、産業医を活用しながら職場の環境改善や健康の維持、増進に努める。

(5) 経営管理

- ◆ 予算執行の進捗管理により、適正な執行に努める。
- ◆ 救護施設、就労継続支援(B型)事業、生活介護事業、日中一時支援事業、共同生活援助事業の各事業について、目標としている稼働率の達成を目指す。
- ◆ ご利用者にも協力を求め、積極的に省エネに取り組み、エネルギー関係費用の節約に努める。

(6) 地域との連携

- ◆ 県、市の社会福祉協議会と連携を図り、えんくるり事業に参画しながら地域の生活困窮者対策を進める。子どもの居場所づくりや中間的就労への取組を検討する。
- ◆ ホームページの更新、地域子ども会との合同行事や施設設備の無償提供及び、地域行事への参加等により地域との交流を深め、災害時等における地域との協力体制の構築を図る。
- ◆ 研修生及び実習生の積極的受入を行い、施設の活性化につなげる。

5. 新規事業

なし